

こんなことができます!

## 野生動物の保全や 管理に関する知見・ 技術を提供できます



夢

### 福島に即した効率的な野生動物管理システムの構築

環境放射能研究所

# 奥田 圭

OKUDA Kei

特任助教 博士（農学）

#### 専門分野

野生動物管理学、野生動物生態学、放射線生態学

#### 特許情報、著書、論文

Indirect effects of sika deer on Japanese badgers. Mammal Study 39: 201-208. 2014

「シカの増加で変わる森の生態系」自然保護526: 40-42. 2012



イノシシの胎児。野生動物を解剖し、体内に蓄積している放射能濃度を測定しています。



野生動物の急激な個体数増加と高齢化に伴う人口減少の波が押し寄せてきている東北地方において、それに併せて福島県では放射能

汚染・津波被災に伴う人間の移出（野生動物領域の拡大）が生じています。野生動物による諸問題の深刻化が進みつつある一方で、その対策を図る担い手の減少や、野生動物の放射能汚染などの課題を抱えている本県において、今後どのような野生動物管理を講じていく必要があるのでしょうか。

野生動物の生態学的研究をはじめ、放射能汚染による野生動物への影響評価などを展開しており、自然科学の視点から福島に即した野生動物管理システムの構築にアプローチしています。

#### 想定するパートナー

自治体、JA、森林組合、環境コンサル等

#### 具体的な連携、事業化のイメージ

野生動物による農林業被害等の各種問題の軽減、野生動物の保全・管理、野生動物の放射性セシウム濃度のモニタリング

#### これまでの取組事例

南会津町におけるニホンジカによる食害に対する対策や、南相馬市におけるアライグマ対策を県、地元自治体、地域住民等と協同して行っています。浜通りを中心とした福島県内における野生哺乳類の放射性セシウムの蓄積状況を県、地元自治体、猟友会、JA等と協同してモニタリングしています。

教育  
学習支援

健康  
福祉

防災  
都市計画

地域  
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ  
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク  
材料

エネルギー

ものづくり  
技術

社会基盤

フロンティア

